

H8S/Tiny E100エミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00 ご使用上のお願い

H8S/Tiny E100エミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00の使用上の注意事項を 連絡します。
H8S/Tiny E100エミュレータソフトウェアは、E100エミュレータ用MCUユニット
ROE420000MCU00 (H8S/TinyシリーズMCU用) に付属しています。

1. 内容

該当製品を使用した場合、予期しない箇所でユーザプログラムがブレイクします。

なお、問題が発生した場合、ステータスバーのブレイク要因を表示するエリアには、Unknown break causeが表示されます。

2. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

(1) ユーザプログラム実行中にプリフェッチはされるが実行されないコードがあるアドレスに、ソフトウェアブレイクを設定している。

(2) ユーザプログラム実行中に、デバッガからメモリアクセスを行っている。

注：メモリアクセスは、メモリウィンドウおよびプログラムウィンドウの移動やサイズ変更によっても発生します。

3. 回避策

ユーザプログラム実行中にデバッガからメモリアクセスをしないでください。

また、意図せずメモリアクセスが発生しないように、ユーザプログラム実行中のデバッガのGUI操作によるメモリアクセスを無視するオプションを有効にしてください。

以下の手順でオプションを有効に設定できます。

(1) 統合開発環境High-performance Embedded Workshopのデバッグメニュー -> デバッグを選択し、「デバッグの設定」ダイアログボックスを開く。

(2) 「デバッグの設定」ダイアログボックス内のオプションタブを選択する。

(3) 「ターゲット実行中のGUI操作によるメモリアクセスを無視」チェックボックスをチェックする。

4. 恒久対策

エミュレータソフトウェアの次期バージョン (2010年8月リリース予定) で改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.